

開設母体

要件
自由科目(特設)

展開科目群

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
8050001	TSUKUBAポスト・コロナ学	1	1.0	1 - 4	春C	火1, 2	秋山 肇, 池田 真利子, 大村 美保, 谷口 綾子, マニエ-ワタナベ レミー, 堀 愛, 山田 実	2020年、世界各国が新型コロナの深刻な影響を受ける中、筑波大学では「『知』活用プログラム」として27件の研究プロジェクトが実施されました。同プログラムにはウイルス学、医学・生物学、健康科学、数理科学、情報学、教育学、社会心理学、社会政策学、法学、経済学、芸術学等のプロジェクトが採択され、総合大学である筑波大学の多様な知が結集しています。これらの多様な知は、新型コロナ影響を受けた今後の社会を検討する際に、重要な視点を提供しています。オムニバス形式で開講される本科目は、異なる系に所属する研究者が実施している新型コロナの影響に関する最先端の研究成果を学生と共有し、ポスト・コロナの科学・学問・社会の在り方について学際的な視点で考える機会を提供します。 The University of Tsukuba launched the “Employing the University Wisdom to Fight against the COVID-19 Crisis” programme to deal with COVID-19 in 2020, and the programme adopted twenty-seven projects. Projects include virology, medicine, biology, health science, mathematical science, informatics, education, social psychology, social policy, economics, and arts. These diverse areas indicate the wideness of the research at the University of Tsukuba. Scholars from different institutes share their knowledge based on the projects to encourage students to acquire interdisciplinary perspectives to think about science and society in the post-COVID-19 era.	全ての学類・学群・学位プログラムの学生の履修を歓迎します。 This course welcomes students of any colleges, schools and programmes. 対面(オンライン併用型) 授業を録画して配信することがあります。 2021年度開講「TSUKUBA新型コロナ社会学」と同一。
8050011	ポスト・アントロポセン	1	1.0	1 - 4	春C	火3, 4	秋山 肇, 浦山 俊一, 江口 真規, 豊福 雅典, 平井 悠介, 山本 容子	人間は地球に過度な負荷をかけており、アントロポセンと呼ばれる新たな地質年代が始まったと言われています。その結果、環境問題が深刻化し、人間は生存の危機に直面しています。アントロポセン時代の先にある社会像、科学技術のあり方を検討するために、異なる系の教員が共に、「チーム ポスト・アントロポセン」を立ち上げました。本科目は、アントロポセンの課題を克服したポスト・アントロポセンの実現に向けて行っている議論・活動の経過を共有し、2050年やそれ以降の社会像・科学技術の役割について議論します。 Human makes a significant negative impact on the Earth, and a geological age called Anthropocene began. As a result, the environmental issues become severe, and human survival is at risk. Members of different institutes established a “Team Post-Anthropocene” to think about the society and the role of science and technology after the Anthropocene. This course shares the Team Post-Anthropocene progress to overcome issues related to the Anthropocene and discuss visions and the role of technology in and after 2050.	全ての学類・学群・学位プログラムの学生の履修を歓迎します。 This course welcomes students of any colleges, schools and programmes. 対面(オンライン併用型) 授業担当者により実施形態が異なる可能性があります。
8090401	ニューロサイエンスへの誘い	1	1.0	2・3	春C	集中	綾部 早穂, 山田 一夫	ニューロサイエンスの基本的概念を解説し、ヒトの心と行動を理解するための研究の手法と成果について概説する。ニューロサイエンス学位プログラム(大学院博士前期・後期課程)を担当する、医学系、人間系及び産総研に所属する10名の教員によるオムニバス形式で実施する。	対面 1-5限
8200603	つくばロボットコンテスト2026	3	1.0	1 - 3	春A 春BC 秋ABC	火6 集中 月6	ハサン モダル, 上原 皓, 矢野 博明, 相山 康道, 望山 洋, 伊達 央, 土井 裕人	数人(3名以上5名以下)でグループを作り、自分達の創意により与えられた課題を実現する知能ロボットシステムのメカニズム、制御系およびソフトウェアを設計・製作する。この設計・製作の成果発表は、公開コンテストにおいて競技形式で行われる。この授業はロボット製作を通じて各々の技術分野の重要性を感じてもらうことを目的としている。経験や予備知識は必要ないが、ロボット製作への興味と意気込みは不可欠である。	つくばロボットコンテスト2025までの履修者も履修可。ただし3単位までとする。 実務経験教員
8202104	コンテンツ表現工学	4	1.0	1 - 3	秋AB	金4	星野 准一, 若槻 尚斗, 宇津呂 武仁, 蜂須 拓, 高谷 剛志	コンテンツ表現の基礎を学ぶとともに、コンテンツ工学技術(リアルタイムCG, VR, IoT, メカトロニクス、機械学習、自然言語処理、ウェブ検索サービスなど)を利用して独自のコンテンツの企画・設計とプレゼンテーションを体験します。工学、医学、芸術・デザイン、ビジネスなどの異種分野の協調による多視点的な問題設定・解決を重視します。	講義および実習を通じて、データ・AI活用企画・実施・評価に関する知識習得を目指す。 8202003 コンテンツ表現工学の単位を修得した学生は履修不可。希望者多数で定員を超えた場合は、人数制限をすることがあります。 対面(オンライン併用型)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
8204004	巨大プロジェクトエンジニア入門	4	1.0	1・2	春C	木3, 4	松田 昭博, 金子 晓子, 庄司 学	巨大プロジェクトのエンジニアになるために必要な専門知識やコミュニケーションスキルなどの能力について学び、エンジニアとしてのキャリアパスについて考察する。実際に産業界などで活躍するエンジニアを招き、巨大プロジェクトに関わるやりがいや苦労についてリアルな事例を提供する。将来必要となるスキルについて考える。	講義および実習を通じて、データ・AI活用企画・実施・評価に関する知識習得を目指す。 実務経験教員 全回の授業を対面で実施する。希望者多数で定員を超えた場合は、人数制限をすることがあります。
8310201	スポーツが変われば、大学が変わる	1	1.0	1 - 4	秋AB	水6	高木 英樹, 山田 晋三, 大山 高, 稲垣 和希	本授業では、筑波大学が進める大学スポーツ改革をテーマに、スポーツが大学の教育・研究・社会貢献に果たす役割を学びます。体育スポーツ局が中心となって展開するプランディング戦略や地域連携活動を取り上げ、大学スポーツがどのように社会とつながり、新しい価値を生み出しているのかを理解します。 講義だけでなく、現場事例やゲスト講話を通して、学生自身が「大学スポーツの当事者」として関わる意義を考え、スポーツを起点に大学や地域の未来をデザインする力を養います。	対面
8310205	地域共創型スポーツビジネス論～筑波スポーツのファンマーケティング～	5	1.0	1 - 4	秋C	金5, 6	高木 英樹, 山田 晋三, 大山 高	筑波大学体育スポーツ局が推進する「地域と共に創るスポーツビジネス」をテーマに、スポーツの価値を社会へ広げる実践的な学びを提供します。スポーツを支える人材育成を目的とした取組「Design the Future スポーツビジネスカレッジ、together(仮称)」の一環として、学内外の多様な人々や組織と協働しながら、ファンマーケティングやファンリレーション・マネジメントの理論と実践を学びます。 地域・企業・学生が一体となって大学スポーツの新しい可能性を創り出すことを目指し、受講を通じて「スポーツを通じて社会とつながる」「自ら行動を起こす」きっかけを得ることを目的とします。	
8310305	スポーツボランティア講座	5	1.0	1 - 4	春B 秋C 夏季休業中	集中	平岡 拓晃, 大林 太朗	講義により、スポーツ大会ほかイベント、日常でのスポーツに関するボランティアとして活躍するために必要な知識について学ぶ。また、障害に関する理解を深め障害者への適切な支援に関する知識を得る。その後、参加するボランティア計画書を提出し、少なくとも5日(講義1.25時間、実習30時間以上 合計30時間)以上のボランティア活動に従事し、最後にレポート提出による報告・振り返りを行うことで、広い視野と国際性、協働性・主体性・自律性を身に付ける。	事前指導日時 対面の場合 1回目5月または2回目6月に行われる事前指導に参加。 (どちらかに参加が条件。) 状況によりオンラインでの実施になった場合も同様 (どちらかに参加が条件。) 各自、計画書作成、スポーツボランティア活動を実践 事後指導を9月以降に行う。レポート講評会 ※必ず出席すること 日時については掲示板で連絡します。 対面
8320302	創造学群表現学類—OBOG指導によるクリエイティブ体験講座	2	2.0	3・4	春C秋A	随時	原 忠信	「筑波大学」を社会に発信するためのコミュニケーションを言語、デザイン、音楽、身体等の表現を通じて考え、クリエイティブワークを総合的、体験的に学習する。	実施時期等は掲示にて周知する。希望者多数の場合、人数制限をする場合がある 実務経験教員 対面
8330524	団碁で培う思考力	4	2.0	1 - 4	秋AB	水3, 4	白川 直樹, 八森 正泰, 前田 良二, 鈴木 研悟	最初に団碁のルールを理解した後、実戦例をもとの団碁の考え方、進め方、形勢判断方法などを学ぶ。さらに演習として実際に対局し、その評価を通して様々な考える力を培う。団碁の歴史と文化なども概観する	原則として団碁を知らない者を対象とする。 履修希望者が40名を超える場合は人数制限を行ふ。 受講者選抜はオンライン・オンデマンド方式にて実施する(manaba使用)。受講者選抜を行ふため、履修登録期限が早いことに注意(詳細はシラバスを参照のこと)。 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
8331112	障害学生支援技術	2	1.0	1 - 3	通年	随時	長山 慎太郎, 佐々木 銀河, 左藤 敦子, 竹田 一則, 名川 勝, 横井 美緒	1) 「障害学生支援に関する基礎的理解」は、(a) 全体オリエンテーションおよび(b)ニーズ別の支援内容に関する講義をオンラインで実施する。(a)では、障害学生および支援学生にも参加してもらい、本学における障害学生支援のしくみについて説明する。(b)では、視覚障害、聴覚障害、運動・内部障害、発達障害等のニーズに関する実際の支援内容について紹介する。その後、2)「各支援技術別に実施する講義・演習」を対面で実施する。具体的には、印刷物のテキストデータ化、パソコン要約筆記、ノートテイク、学習・コミュニケーション支援技術等の習得を目指す。なお、本授業を受講した後にはビア・チューターとして実際の支援活動に従事することができる。	2024年度までの8100102と同一。1)障害学生支援に関する基礎的理解(オンライン)・2)各支援技術の講義・演習(対面 グループワークあり)を受講することで単位を認定する。受講者は、全体オリエンテーションに必ず出席すること(4月下旬ごろ実施予定)。日程の詳細はmanaba等にて通知する。講義・演習について、受講希望者多数で定員を超えた場合には、人数制限をする場合がある。 詳細後日周知 実務経験教員 対面(オンライン併用型)
8331124	手話コミュニケーションI(入門・基礎)	4	1.0	1・2	春C	集中	長山 慎太郎, 竹田 一則, 左藤 敦子, 数馬 梨恵子	きこえること、きこえないことを意識して考えられるように説明する。自己紹介と日常会話ができる程度の手話を習得できるように演習を行う。	2024年度までの8100404と同一。 対面
8331134	手話コミュニケーションII(応用・実践)	4	1.0	1・2	秋B	集中	長山 慎太郎, 竹田 一則, 左藤 敦子, 数馬 梨恵子	手話コミュニケーションI(入門・基礎)で学んだ知識、習得した手話を基に、支援できる知識が深められるように講義をし、通常会話ができる手話の習得ができるように演習をおこなう。	2024年度までの8100504と同一。 対面 履修条件:手話コミュニケーションIを履修していること

キャリア形成科目群

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
8220004	Inclusive Smart Society PBL II	4	1.0	2・3	秋C春季休業中	随時	松島 直志, 鶴田 敏弘, 山本 亨輔	このコースは、オハイオ州立大学(OSU)と筑波大学の学生が参加するInclusive Smart Society(ISS)実現をテーマとする国際共同PBL科目である。両大学の学生らは、アイデアを共有し、国際チームを形成して、共にISS実現に向けたソーシャルスタートアップの提案を目指す。受講生らは、ISSに普遍的および地域的因素がある事を理解し、様々な課題を調査・分析して実用的なソリューションを構築することが求められる。本プロセスを通じて、実社会課題への実践的アプローチと方法論を修得できる。なお、本コースの履修は、「1490014 Inclusive Smart Society PBL」を履修したことがある学生に限る。	履修は、「1490014 Inclusive Smart Society PBL」を履修したことのある学生に限る。 英語で授業。 オンライン(オンライン) オンライン(同時双方指向型) 詳細は後日manabaで周知。最終回の授業はオンライン(同時双方指向型)で行う。
8331101	インターフェクショナリティ/クィア・スタイル入門	1	1.0	2 - 4	春BC	水3	郭 立夫, 河野 穎之	近年、性的マイノリティ(LGBTQ+)の人権は西洋社会だけでなく、アジア社会でもますます認められるようになってきた。しかし、同時に、性的マイノリティの人の人権、とりわけトランスジェンダーの性や女性の性の人権を侵害するような言説も広く見られるようになっている。こうした分断や対立を考えるために、本授業では「フェミニズム」「クィア・スタイル」「インターフェクショナリティ(交差性)」の基礎的知識を共有する。とくに第三波フェミニズム運動における「クィア・ターン(Queer Turn)」を手掛かりに、フェミニズム運動の主体について、クィア・スタイルの観点から單一のアイデンティティに基づく運動・思想よりも、交差性(インターフェクショナリティ)を重視した運動・思想が求められるようになった経緯等を踏まえ、問題の背景にある課題への理解を深める。	対面 定員30名。受講希望者多数で定員を超えた場合には人数制限をする場合がある。詳細は後日周知
8331144	ダイバーシティとジェンダー/セクシュアリティ	4	1.0	1	秋C	集中	河野 穎之, 土井 裕人, 郭 立夫, 早坂 美奈子	産業構造が急速に変化し、人々の生活文化、家族のあり方や社会が変容する中、多様な属性の人々の存在とともに、我々の生き方も多様性に満ちていることが明らかとなっている。そこにある個人や個人をとりまく人間関係、組織や地域社会では、どのような問題が生じているのか。本授業では、「人の多様性」のうち、特に「ジェンダー」及び「セクシュアリティ」を切り口として、近年注目されている「ダイバーシティ&インクルージョン」や「ダイバーシティ・エクイティ・インクルージョン」という概念について、その本質と実体について学ぶ。そのため、実践家の講師による話題提供とともに質疑応答や対話を重ね、より広い視野と柔軟な発想の獲得を目指しながら、受講生個人の生きる力、社会力を身につけることにつなげる	2024年度までの8320404と同一。授業は日本語で行う(リアルタイムペーパー等は英語可) 2/6, 2/7 オンライン(同時双方指向型) 授業中は匿名で参加可。詳細についてはManabaにて周知する。2日間の集中講義のため、2日間の出席を前提とする(1日のみ参加は単位認定不可)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
8331204	筑波クリエイティブ・キャンプ・ベーシック—アントレプレナー入門講座—	4	1.0	1 - 4	春AB	集中	野村 豪, 五十嵐 浩也, 尾崎 典明	新規事業の立ち上げ(起業含む)に関心のある受講者に対して、実際に起業に携わった経営者陣が、様々な経験に基づく講義を行う。学生自らの事業アイデアをビジネスプランに昇華する体験をグループワークを通じて行い、アントレプレナーシップの醸成と起業のための基本スキルの習得を図る。アントレプレナーシップとは、身の回りの問題を自ら発見し解決するための行動に移すマインドセットで、起業家精神ともいわれる。必ずしも起業することを意味するのではなく、自立していくためのキャリア形成にとってすべての人が身に付けるべきものである。本授業では演習を通じてアントレプレナーシップを身につけ、イノベーションを創造できる人材を養成する。	2024年度までの8321101と同一。実務経験教員対面(オンライン併用型)つくば市特定創業支援等事業の対象講座(https://www.city.tsukuba.lg.jp/soshikikarasagasu/keizaibusangyoshinkoka/gyomuanai/3/2/1005409.html)
8331214	筑波クリエイティブ・キャンプ・アドバンスト	4	1.0	1 - 4	秋AB	集中	野村 豪, 五十嵐 浩也, 森川 亮	本格的に起業を目指す受講者に対して、本学出身者を中心とする経営者陣が、起業プランに対するメンタリングを行う。受講者の持つ起業プランを具体化し、筑波大学発ベンチャー設立に向けた支援を行う。「起業」について知ることは、実際に起業をする人だけでなく、研究においても自分の研究結果がどう社会に貢献するかを見据えることに役立つ。当科目では、大学における研究や、自分の関心を元に起業をすること、また、将来のキャリアとして、「起業をする」という選択肢について指導を行ふことで、「自分の思いで社会を変える」というイノベーション的視点を持った人材の育成を目指す。	2024年度までの8321202と同一。実務経験教員対面(オンライン併用型)つくば市特定創業支援等事業の対象講座(https://www.city.tsukuba.lg.jp/soshikikarasagasu/keizaibusangyoshinkoka/gyomuanai/3/2/1005409.html)
8331224	起業家のための経営・知財必須知識	4	1.0	1 - 4	秋AB	集中	中澤 真吾, 五十嵐 浩也	起業に興味を持つそのためには必要となる知識を身につけたい学生が、ベンチャービジネス、知的財産とその戦略、マーケティング、経営とファイナンスなどの実践的な実践を、ベンチャー企業のライフサイクルに合わせて演習を含めて学習する。スタートアップのリスク低減に必要な知識を中心とするが、企業で事業推進するときにも役立つ知識である。	2024年度までの8320504と同一。令和元年度までの「次世代起業家養成のための経営・知財必須知識」に相当するため、これらの授業の履修者による重複履修は不可。原則対面授業。実務経験教員対面

グローバル自由科目群

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
8030306	海外英語研修I-a	6	3.0	1 - 4	春C	集中		夏季休業の期間を利用して、英語圏の大学が実施する英語研修プログラムに参加し、英語の4技能の強化をはかる。あわせて、現地学生との交流やアクティビティを通して、英語を実践的に活用しながら、異文化・社会に対する理解を深める。	授業形態は未定 2025/10/3 開講中止決定
8030406	海外英語研修I-b	6	3.0	1 - 4	夏季休業中	集中		夏季休業の期間を利用して、英語圏の大学が実施する英語研修プログラムに参加し、英語の4技能の強化をはかる。あわせて、現地学生との交流やアクティビティを通して、英語を実践的に活用しながら、異文化・社会に対する理解を深める。	授業形態は未定 2025/10/3 開講中止決定
8030506	海外英語研修I-c	6	3.0	1 - 4	夏季休業中	集中		夏季休業の期間を利用して、英語圏の大学が実施する英語研修プログラムに参加し、英語の4技能の強化をはかる。あわせて、現地学生との交流やアクティビティを通して、英語を実践的に活用しながら、異文化・社会に対する理解を深める。	授業形態は未定 2025/10/3 開講中止決定
8030606	海外英語研修II-a	6	3.0	1 - 3	春季休業中	集中		春季休業の期間を利用して、英語圏の大学が実施する英語研修プログラムに参加し、英語の4技能の強化をはかる。あわせて、現地学生との交流やアクティビティを通して、英語を実践的に活用しながら、異文化・社会に対する理解を深める。	授業形態は未定 2025/10/3 開講中止決定
8030706	海外英語研修II-b	6	3.0	1 - 3	春季休業中	集中		春季休業中の4週間を利用して英語圏の大学にて英語研修を行い、英語の4技能の強化をはかる。併せて、現地大学生や他国からの学生との交流、ホームステイ、地域ボランティアといったアクティビティを通じて、英語を実践的に活用しながら、異文化・社会に対する理解を深める。	授業形態は未定 2025/10/3 開講中止決定
8030806	海外英語研修II-c	6	3.0	1 - 3	春季休業中	集中		春季休業の期間を利用して、英語圏の大学が実施する英語研修プログラムに参加し、英語の4技能の強化をはかる。あわせて、現地学生との交流やアクティビティを通して、英語を実践的に活用しながら、異文化・社会に対する理解を深める。	授業形態は未定 2025/10/3 開講中止決定
8042104	海外武者修行	4	1.0	2 - 4	通年	集中	島田 雅晴	海外の大学・企業等において、自らの企画により交流・研修活動等を行い、大学では得られない経験と自らの能力・適性を客観的に判断する機会を得る。積極性と企画力・実行力の向上及び自立性の向上を図るとともに、現地の学生グループなどと交流・研修活動を行うことにより、武者修行による教育効果を期待する。	「はばたけ 筑大生!海外武者修行支援プログラム」の募集要項に従い、活動後に履修手続きを取ること。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
8070307	国際パートナーシップ研修(中南米)	7	2.0	1 - 4	春季休業中	集中	藤澤 奈都穂	<p>本授業は、メキシコ、コロンビア、ペルー、チリ、ブラジルの提携協定校との協働教育科目の一つとして開講するものである。</p> <p>約3週間の双方の短期研修を利用し、事前研修の後、研修の実施国において、 1語学研修、 2当該国や日本の社会や文化に対する相互理解、 3学生の専門に応じた専門研修、 4現地企業や関連機関等での研修やインターンシップ、 5研修の仕上げとしてのレポート提出と提携校の学生を交えた報告会(協働演習)から構成される。</p> <p>成績評価は、派遣学生については、上記に係る院卒教職員及び学生からの報告書並びに報告会における発表等に基づき、授業担当教員が行う。受け入れ学生については、上記に係る学習状況及び学生の報告書並びに報告会における発表等表等に基づき、授業担当教員が行う。</p>	メキシコ、コロンビア、ペルー、チリ、ブラジルの提携協定校での実施を予定 G科目 対面 卒業する年度において、卒業要件として単位修得する履修は認めない。「筑波トランスパシフィックプログラム」生に限る。
8070406	国際パートナーシップ協働演習(中南米)	6	2.0	2 - 4	通年	応談	藤澤 奈都穂	<p>本授業は、メキシコ、コロンビア、ペルー、チリ、ブラジルの提携協定校との協働教育科目として開講するものである。</p> <p>双方の指導教員の指導の下に、 1提携校での留学期間を利用した、指定のテーマに関する調査、 2上記調査と留学の学習と生活に関するマンスリーレポートの作成、 3レポートに基づき、留学経験者を交えた研究・活動発表と討議から成る。</p> <p>日本と中南米双方の開発課題とグローバル課題を共有し、留学の体験と学修、現地調査の成果として、その課題解決に向けた実践的討議を主な内容とするものである。</p> <p>交換留学のタイミングにもよるが、最後の研究・活動発表と討議は、本学での受け入れ留学生との合同での実施により協働教育の実を高めることとする。</p> <p>成績評価は、派遣学生については、上記に係る提携協定校のプログラム関係教員からの報告及び学生の報告書並びに研究発表等に基づき、授業担当教員が行う。受け入れ学生については、上記に係る学習状況及び学生の報告書並びに研究発表等に基づき、授業担当教員が行う。</p>	「筑波トランスパシフィックプログラム」生として派遣及び受け入れている学生で、受け入れ教員の指導のもとに実施。終了時に報告会を行う。 G科目 対面 卒業する年度において、卒業要件として単位修得する履修は認めない。「筑波トランスパシフィックプログラム」生に限る。
8200006	アフリカ・オンライン・フィールドスタディA	6	1.0	1 - 4	春学期	随時	山本 亨輔	<p>アフリカ各国で活躍する起業家を講師として、講師・現地スタッフと共に現場の課題を共有し、その課題の解決方法を探索する。学生はリモートで接続するので、直接、現地に留学すること無く、海外でのフィールド・スタディを体験できる。本講義を通じて、受講生は、国際的フィールドでの課題解決プロセスを学習し、必要な知識・経験を理解できる。</p>	時差があるため、講義時間は柔軟に設定する。 オンライン(オンデマンド型)
8200016	アフリカ・オンライン・フィールドスタディB	6	1.0	1 - 4	秋学期	随時	山本 亨輔	<p>アフリカ各国で活躍する起業家を講師として、講師・現地スタッフと共に現場の課題を共有し、その課題の解決方法を探索する。学生はリモートで接続するので、直接、現地に留学すること無く、海外でのフィールド・スタディを体験できる。本講義を通じて、受講生は、国際的フィールドでの課題解決プロセスを学習し、必要な知識・経験を理解できる。</p>	時差があるため、講義時間は柔軟に設定する。 対面 時差があるため、講義時間は柔軟に設定する。
8220007	Inclusive Smart Society 米国研修	7	1.0	2 - 3	通年	応談	松島 亘志	<p>このコースは、Inclusive Smart Society(ISS)実現をテーマとするオハイオ州立大学(OSU)と筑波大学の国際共同教育プログラムの一環で実施する。</p> <p>ISS PBL, ISS I, IIまたはISSサポートプログラムで学んだ学生が、OSUや企業等において企画される様々な活動やインターンシップへ参加し、Inclusive Smart Societyの実現に向けた具体的な事業化計画の発表などを行う。また、学生自らが事前に交流内容を企画し、現地の教員や学生と交流を行う。</p>	履修登録希望者は、事前にISSプログラム事務局へ相談すること。 info.tenkai-us@un.tsukuba.ac.jp 英語で授業。
8290107	国際パートナーシップ研修(東南アジア)	7	2.0	1 - 4	夏季休業中	集中	森川 一也, 牛島 由理	<p>本授業科目は、日本において準備教育を実施した後、学生を東南アジア諸国へ派遣するとともに、学生の専門分野に応じた適正技術に係る実習・研究発表等を行うことで、以下の知識・能力を身に付けさせることを目的としたものである。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 英語による実践的なコミュニケーション能力・プレゼンテーション能力 2 派遣国や日本の社会・文化に対する理解 3 派遣国における発展段階に応じた課題、適正技術へのニーズ等に対する理解 4 適正技術の開発・実装に向けた課題の抽出 	全学自由科目(特設)。 本学および国際基督教大学の学生に限る 詳細後日周知 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
8310005	海外先進大学スポーツマネジメント研修	5	1.0	1 - 4	春季休業中	集中	大山 高, 山田 晋三, 高木 英樹	体育スポーツ局が実施する自由科目「スポーツが変われば、大学が変わる」の実習科目として位置づけられた海外研修プログラムです。約1週間の滞在を通じて、海外の先進的な大学スポーツマネジメントの現場を体験し、スポーツが大学や地域社会にもたらす価値を多角的に学びます。 現地大学の教員やスタッフから、1スポーツ文化とその背景、2大学スポーツ観戦を通じた価値創造、3大学スポーツ局の運営・地域連携の仕組みなどについて講義を受け、さらに4現地学生とのディスカッションやイベント交流を行います。国際的視点から大学スポーツの意義を理解し、筑波大学の目指す大学スポーツの未来像を考えることを目的とします。	対面
8330206	海外語学研修ドイツ語	6	3.0	2 - 4	春C夏季休業中秋C春季休業中	集中	茅野 大樹	バイロイト大学主催のドイツ語コースに参加することで、ドイツ語教育の専門家による授業を受け、ドイツの日常生活や文化に触れながらドイツ語を学ぶ。	グローバルコミュニケーション教育センター開設。ドイツ、バイロイト大学「外国语としてのドイツ語」学科にて研修。詳細後日、案内掲示あり。G科目
8330306	海外語学研修中国語A	6	3.0	2 - 4				夏期休暇中の約3週間の期間を利用し、交流協定校である中国長沙市の湖南大学において、中国語研修を行う。教室で基礎学習を行いつつ、実際の生活の中で中国人及び中国社会にじかに触れながら学び、異文化理解力と語学運用能力を高める。	グローバルコミュニケーション教育センター開設。中国、湖南大学日本言語・文化学部にて研修。2026年度開講せず。G科目
8330316	海外語学研修中国語B	6	3.0	1 - 4				華東師範大学(中国上海市)で開設される中国語コース(約3週間)において、短期集中型の語学研修を行うと同時に、現地の日系企業における体験学習を実施し、それらを通して語学力を向上させ、異文化理解を深める。	グローバルコミュニケーション教育センター開設。中国上海市、華東師範大学対外漢語学院にて研修。2026年度開講せず。G科目
8330406	海外語学研修ロシア語A	6	3.0	2 - 4				夏季休暇中の3~4週間の期間を利用し、本学の教育学術交流協定大学であるサンクトペテルブルク大学文学部ロシア言語文化カレッジにおいてロシア語研修を行う。具体的には、授業の場で基礎文法、会話、読解などをバランスよく学習する一方、ロシア本国での実生活という体験学習を通じてロシアの文化や社会、ロシアの人々の国民性や価値観などに対する理解を一層深める。	グローバルコミュニケーション教育センター開設。ロシア、サンクトペテルブルク大学文学部附属ロシア語ロシア文化カレッジにて研修。詳細後日、案内掲示あり。2026年度開講せず。G科目
8330416	海外語学研修ロシア語B	6	3.0	2 - 4	夏季休業中	集中	臼山 利信, 梶山 祐治	夏季休暇中の3~4週間の期間を利用し、キルギス共和国日本人材開発センター(本学の協定校であるキルギス国立総合大学構内/首都ビシュケク)と本学とが協力・連携し、同センターにおいて、主にロシア語研修を行う。ロシア語のほか、現地語であるキルギス語の研修も実施する。キルギス共和国での実践的な語学・異文化研修を通じて、ロシア語及びキルギス語の運用能力を伸ばすとともに、ロシア語圏の文化や社会の多様性に対する理解を一層深める。	グローバルコミュニケーション教育センター開設。バスポートを早めに用意すること(更新期限が切れていないか確認すること)。また研修中は危機管理を常に意識すること。ロシア語で授業。詳細後日周知G科目対面
8330426	海外語学研修ロシア語C	6	3.0	2 - 4	春季休業中	集中	臼山 利信, 梶山 祐治	春季休暇中(3月)の3~4週間の期間を利用し、Cic協定大学であるアルファラビ・カザフ国立大学(カザフスタン共和国、アルマトイ)と本学とが協力・連携し、同大学において、主にロシア語研修を行う。ロシア語のほか、国家語であるカザフ語の研修も実施する。カザフスタン共和国での実践的な語学・異文化研修を通じて、ロシア語及びカザフ語の運用能力を伸ばすとともに、ロシア語圏の文化や社会の多様性に対する理解を一層深める。	グローバルコミュニケーション教育センター開設。バスポートを早めに用意すること(更新期限が切れていないか確認すること)。また研修中は危機管理を常に意識すること。ロシア語で授業。詳細後日周知G科目対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
8330606	海外語学研修英語A	6	3.0	1 - 4	春C夏季休業中	集中	マダバカス ナヒーン, 井出 里咲子	<p>ニュージーランドのピクトリア大学ウェリントン校のEnglish Language Institute(ELI)によって実施される、6週間の英語研修プログラムに参加し、「学術的目的のための英語(EAP)」を学ぶ授業、テスト、課題、その他のさまざまな活動に英語を取り組むことを通して、集中的に英語力全般を向上させ、自身の英語力についての客観的な理解を深める。さらに、英語で実施されるセミナーに協働的に取り組むことによって問題解決のためのチームスキルを向上させる。</p> <p>また、ウェリントンとニュージーランドの歴史、社会、文化について学び、その地域の生活を体験し、他国の学生(南アメリカ、ヨーロッパ、パシフィック諸島からの学生など)および地元の人々と交流することを通して、異なる文化に適応する能力を身につける。</p>	<p>グローバルコミュニケーション教育センター開設。ピクトリア大学ウェリントン校のEnglish Language Instituteによって実施される6週間のコースは、ウェリントンのケルバーンキャンパスで対面で行われる。春学期中に、筑波大学CEGLOCで事前のオリエンテーションが開催されること、必ず出席すること。(オリエンテーションの日程については、後日公表する)。</p> <p>英語で授業。</p> <p>詳細後日周知</p> <p>G科目</p> <p>授業は教室での対面指導、セミナー、ペアワークおよびグループワーク活動を含む。</p>
8330616	海外語学研修英語B	6	3.0	1 - 4	春季休業中	集中	マダバカス ナヒーン, 井出 里咲子	<p>ニュージーランドのピクトリア大学ウェリントン校のEnglish Language Institute(ELI)によって実施される6週間の英語研修プログラムに参加し、「学術的目的のための英語(EAP)」を学ぶ授業、課題、その他のさまざまな活動に英語で取り組むことを通して、集中的に英語力全般を向上させ、自身の英語力についての客観的な理解を深める。また、英語で実施されるセミナーに協働的に取り組むことによって問題解決のためのスキルを向上させる。さらに、ウェリントンとニュージーランドの歴史、社会、文化について学び、その地域の生活を体験し、他国の学生および地元の人々と交流することを通して、異なる文化に適応する能力を身につける。</p>	<p>グローバルコミュニケーション教育センター開設。ピクトリア大学ウェリントン校のEnglish Language Instituteによって実施される6週間のコースは、ウェリントンのケルバーンキャンパスで対面で行われる。履修を希望する場合は、必ず、事前に開催される対面/オンラインの説明会に参加すること。(説明会参加者ののみ、関連情報の詳細を共有し、履修を承認する。)</p> <p>G科目</p>
8330906	海外語学研修カザフ語	6	3.0	2 - 4	夏季休業中	集中	宗野 ふもと, 梶山 祐治	<p>アルファラビ・カザフ国立大学主催の短期カザフ語研修コースにおいて、実践的なコミュニケーション能力の育成を重視した、カザフ語学習を行う。具体的には、授業の場で基礎文法を学びながら現地学生やホストファミリーとの会話、買い物など、アウトプットを積極的に行うことで生活に根差した単語や実用的な表現を身につける。カザフスタン共和国での実生活という体験学習を通じて言語のみならず中央アジアの文化や社会、カザフの人々の国民性や価値観などに対する理解を一層深める。</p>	<p>グローバルコミュニケーション教育センター開設</p> <p>G科目</p> <p>対面</p>
8331153	多文化共修による課題解決実習(国内)A	3	1.0	1 - 4	春学期	随時	福嶋 美佐子	<p>春学期ないし夏季休業期間に国内を共修の場とし、本学ないし海外協定校の外国人学生と本学の日本人学生、国内企業等が参加し、地球規模課題などの解決を図るために多文化共修を行う。これにより、グローバルな環境下で文化や専門分野の相違を超えて多彩なステークホルダーと協働し、課題の発見・分析・解決に挑むスキルとマインドセットを習得する。</p>	<p>履修登録の方法は担当教員の指示に従うこと。学生側から登録できないので注意。</p>
8331163	多文化共修による課題解決実習(国内)B	3	1.0	1 - 4	秋学期	随時	福嶋 美佐子	<p>秋学期ないし春季休業期間に国内を共修の場とし、本学ないし海外協定校の外国人学生と本学の日本人学生、国内企業等が参加し、地球規模課題などの解決を図るために多文化共修を行う。これにより、グローバルな環境下で文化や専門分野の相違を超えて多彩なステークホルダーと協働し、課題の発見・分析・解決に挑むスキルとマインドセットを習得する。</p>	<p>履修登録の方法は担当教員の指示に従うこと。学生側から登録できないので注意。</p>
8331173	多文化共修による課題解決実習(海外)A	3	1.0	1 - 4	春学期	随時	福嶋 美佐子	<p>海外協定校等を共修の場とし、本学の日本人学生と現地学生、海外企業等が参加し、地球規模課題などの解決を図るために多文化共修を行う。これにより、グローバルな環境下で文化や専門分野の相違を超えて多彩なステークホルダーと協働し、課題の発見・分析・解決に挑むスキルとマインドセットを習得する。</p>	<p>履修登録の方法は担当教員の指示に従うこと。学生側から登録できないので注意。</p>
8331183	多文化共修による課題解決実習(海外)B	3	1.0	1 - 4	秋学期	随時	福嶋 美佐子, 朝倉 雅史, 藤田 晃之	<p>海外協定校等を共修の場とし、本学の日本人学生と現地学生、海外企業等が参加し、地球規模課題などの解決を図るために多文化共修を行う。これにより、グローバルな環境下で文化や専門分野の相違を超えて多彩なステークホルダーと協働し、課題の発見・分析・解決に挑むスキルとマインドセットを習得する。</p>	<p>履修登録の方法は担当教員の指示に従うこと。学生側から登録できないので注意。</p>

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
8333204	言語を通じた日本と母文化の理解	4	1.0	1~4	秋AB	月5	小野 正樹	日本語の歴史、方言などの様々なジャンルや目的の日本語に触れ、日本語に対する知識を深める。現代日本社会の特徴、魅力、課題を、日本語を通じて、日本人学生には外国語力としての発信力と多文化理解、留学生には日本理解を通じての母文化の理解を深めることで、アカデミックな国際交流を深化させる。	[特別聴講学生(短期留学生)(日本語・日本文化研修生を含む)]は、3901482「様々な日本語IIB」の代わりに本科目を開設したので、正規学生と同様に履修申請してください。

日本事情等科目

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
8049911	日本の歴史	1	1.0	1~2	春季休業中	集中	今井 勇	日本の歴史について、重要なトピックを取り上げ、学修する。	(人文・文化学群開設) 履修は、留学生および 外国滞在期間5年以上 の帰国生徒に限る。令 和元年度以前に 1B26511の単位を既に 修得している生徒は履 修不可。【受講制限数 40名】 オンライン(同時双方 向型) 詳細はmanabaやシラバ スを参照のこと。
8049921	日本の生活文化	1	1.0	1~2	秋B	集中	豊田 紘子	歴史地理学の視点から、近世~近現代の日本におけるさまざまなマチ(都市)・ムラ(村落)の景観と生活およびその変容について検討する。	(人文・文化学群開 設) 外国人留学生及び 帰国生徒に限る。 対面
8149911	日本の自然	1	1.0	1~2	春AB	水5	角替 敏昭	ユーラシア大陸の東端に位置する日本列島およびその周辺地域でみられる地質学的現象の特徴とその成因について講義する。特に46億年の地球史の中で、日本がどのように位置づけられるのか学修する。また、筑波山周辺など身近な地域の変遷についても紹介する。	(地球学類開設) 外国人 留学生及び帰国生徒に 限る。 対面